

3度目の震度6強



突然の激しい揺れ——
よみがえる一年前の記憶

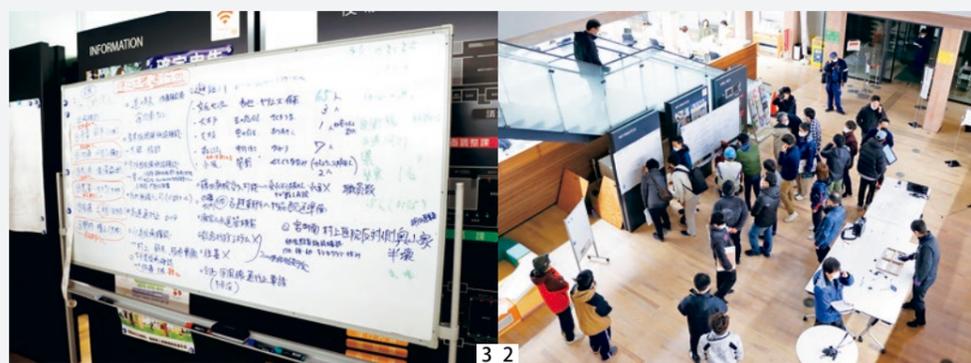
3月16日午後11時36分。突然大きな揺れに襲われた。立ってられないほどの激しい揺れの中で、携帯電話の緊急地震速報が鳴り響いた。明かりが消えた暗闇の中、物が散乱し割れる音があちこちから聞こえ、何もできずにうづくまることしかできなかった。

今回の地震は、福島県沖を震源としたマグニチュード7.3で、役場に設置してある震度計は6強を示しました。国見町は相馬市や宮城県蔵王町とともに最大震度を観測。

町では地震発生後すぐに職員が庁舎へ参集し、避難所開設や被害状況の確認のため国、県、消防団、警察署、消防署などの関係機関と連携して対応にあたりました。



1_倒壊した旧小坂村産業組合石蔵 2_地震発生直後、情報収集にあたる職員たち 3_続々と集められる災害情報 4_漏水が発生した小坂踏切前 5_被害を受けた道の駅国見あつかけの郷 6_観月台文化センターでの応急給水活動 7_隆起したマンホール 8_断線して垂れ下がった電線 9_液化化した役場駐車場 10_避難所となった観月台文化センター 11_被害状況の視察に訪れた内堀雅雄福島県知事(左) 12_罹災・被災証明書の発行受付 13_甚大な被害を受けた東北新幹線の架線柱や橋脚



地震発生後の動き

3月16日	
23:36	令和4年福島県沖地震発生
23:36	災害対策本部設置
3月17日	
0:00	被害状況調査開始
0:10	避難所開設(観月台文化センター、各地区中央集会所)
3:50	停電復旧
8:00	小坂地区漏水箇所修繕に伴う町内全域断水を周知
8:30	罹災・被災証明書発行受付開始
11:30	応急給水活動開始(観月台文化センター、各地区中央集会所)
13:00	災害ボランティアセンター設置
3月18日	
4:00	町内全域で断水解消
3月25日	
12:00	全避難所を閉鎖

町の主な被害状況

(3月31日現在)

項目	被害状況	
人的被害	15人(重症1人、軽症14人)	
物的被害	罹災証明書	1,045件
	被災届出証明書	1,017件

町内5地区で開設された避難所には延べ67人が避難。町内では、家具の転倒やガラスの破損などにより、重症者1人と軽症者14人が確認されました。地震発生直後は町内全域で停電し、断水も発生するなど、多くの人が不安な一日を過ごしました。その後、電気や水道などのライフラインも復旧し、日常生活を徐々に取り戻していきましました。また、17日から罹災・被災証明書の申請受付を開始したほか、町災害ボランティアセンターでは片付けボランティアを募集。町内外からボランティアスタッフが集まり、地震で被害を受けた家の片付け支援が行われるなど、町全体が一丸となり復旧へ向けて取り組んでいます。

